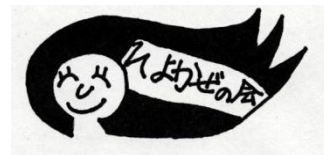


そよかぜ便り



編集：中央東地区農村女性リーダー協議会（そよかぜの会）

協力機関：中央東農業振興センター

梅の花の薫る季節になりました

今年初めてのそよかぜ便り。早いもので2011年も、もう1月が行き、短い2月も逃げて行こうとしています。今年は大きな事故や災害のない平穏な一年であります様、願いたいものです



パソコン勉強会

12月2日にパソコン勉強会が中央東農業振興センターで開催されました。内容は“年賀状づくり”でした。教えてくださるのは、パソコン同好会たんぽぽから2名、それに対し、参加者は4名ととても恵まれた環境での勉強会となりました。私も勉強会へ初めての参加ということもあり、ドキドキでしたが皆さん技術に差はなく（失礼）「立ち上げることはできるけど…」と、年賀状ソフトやパソコンに入っているソフト（筆王・筆まめ・筆グルメ）を使ってそれぞれのパソコンにかわいいうさがりが登場すると「見て見て！」「かわいい！」との声も飛び交いながらの作業となりました。



デジカメから写真を取り込むという技は習得できませんでしたが、文字を入力して、飾りつけたりとオリジナルの作品が出来上がっていききました。

予定時間を大きくオーバーしての勉強会でしたが「パソコンっておもしろい！」「パソコンってすごい！」を実感しました。これからは恐れずにパソコンに触っていこうと思いました。

そよかぜウォッチング in 南国

各地区から集まっている私たちリーダーのメンバー。お互いの町を知ろうという思いで、そよかぜウォッチングが始まりました。今回は初めての南国市です。2010年10月7日JA南国市「かざぐるま市」に集合、参加者23名でした。かざぐるま市の代表依光ふみさんの説明を聞いた後、市を見学、ショッピングを楽しみました。そして昼食のため梅星館へ向



かいしました。途中、四方竹畑を左右に見ながら奥へ奥へと車を走らせ、着いた所は、見はらしのいい山の中の梅星館、そこで、白百合グループ代表の中司滋寿子さんのお話を聞いてから手づくりのお料理をみんなで楽しく食べました。今年の四方竹は、夏の暑さのため出来が悪く生産量も少ないとのことでした。

その後は、道の駅南国風良里の「カフェレスト風良里」でコーヒータ임、12日から始まる農家レストラン「まほろば畑」の説明を聞きました。「まほろば畑」は毎週火曜日AM11:00~PM2:00まで、バイキング方式になっているそうです。

午後からはリーダーの方のトマトと花の苗のハウスの見学。トマトのハウスは苗の誘引や、雑菌の心配等、手入れが行き届いており、気づかいが大変そうでした。次に、花の苗のハウスの見学は、芽が出たばかりの小さなポットがたくさんありました。露地の畑にはお正月用の葉ボタンが何種類か整列していました。虫にやられない様消毒をしたり、これから忙しくなるとのことでした。

お土産にもらったフルーツトマト、甘くてとってもおいしかった！！

おなが
いっぱいになりました



昨年農村女性リーダーになり、自分のまわりの世界かしらなかつた私はカルチャーショック！でした♡

リーダーの方々の生き生きした顔や盛りだくさんの活動、すごい！と思うと同時に“私にできるだろうか”と不安もいっぱい…。でも少しずつ会合や活動に参加させてもらい今は「研修見習い中」かな？

昨年は女性リーダーになってすぐ3月に主人が十二指腸潰瘍で緊急入院し、ネギの収穫や配達、病院通い等クローン人間が欲しい忙しさでしたが春の陽気と共に主人が無事復帰、しかし虫も活動開始、私が消毒できなかったため見事にネギを食べられてしまいました。

主人が入院中ひしひしと感じたのは本当に農業は体が資本、健康第一！ということ、そしてトラクターや消毒等ハウスの中のことは主人任せでできなかった自分の無力さに落ちこんでしまいました。高齢者だけで就農している方や夫婦だけの方、家族に病人が出て看病が必要な方等困ったときには頼れる「お助け隊」の様なシステムがあればいいなと思ったのですが皆さん方は困ったときはどうやって乗り切っていますか？

今、就農している方も新規に就農したいと思っている方も安心して働けるような農業になれるよう勉強していきたいと思います。

白百合グループの四方竹レシピ紹介

四方竹サラダ

☆材料（4人分）

四方竹・・・・・・・・・・300g
 ハム薄切り・・・・・・・・4枚
 チーズ（ピザ用チーズでもよい）・・50g
 貝割れ大根・・・・・・・・1/2パック
 マヨネーズ・・・・・・・・大さじ2
 塩、こしょう・・・・・・・・各適宜



☆作り方

- ① 四方竹は斜め薄切り、ゆがいて水気をしぼる。
- ② ハムは半分に切り、せん切りにする。貝割れ大根は根を除き、洗って水気を切る。チーズはせん切りまたは小さいさいの目に切る。
- ③ ①、②を塩、こしょうで混ぜ、マヨネーズを混ぜる

☆農村女性リーダーとは☆



農業や農村の維持発展のためには、男女が自らの意思や意見に基づき責任を持って行動し、パートナーとして主体的に経営や地域振興に参画することができる農村社会の形成が必要です。

このため、高知県では平成5年から、①高知県に在住し、主として農業に従事しているおおむね35歳以上50歳以下の女性、②組織や集団に属し、集団活動に積極的に参画しており、将来もその指導的な活動が

見込まれる者、③農業経営への主体的な参画、地域農業の振興、農村生活の向上等、経営改善や農村振興等に関する課題解決に対して意欲的であり、活動が期待される女性農業者を農村女性リーダーとして認定しています。

平成22年3月現在で認定された農村女性リーダーは284名で、中央東農業振興センター農業改良普及課管内（南国市・香美市・香南市）の農村女性リーダーは42名です。各地域で地区連絡協議会を結成し、地域の課題解決のために活動しており、中央東地区農村女性リーダー連絡協議会（愛称そよかぜの会）では地産地消を推進するために食育・食農紙芝居の上演や地産地消PR活動に取り組んでいます。



皆さんも女性リーダーになって、
私たちと一緒に活動しませんか。

編集後記

とても寒かったり、日中は過ごしやすかったりと、体調の崩しやすい季節。インフルエンザ、ノロウイルス対策を忘れずに！手洗い、うがいを心がけ、寒い冬を元気で過ごしましょう。健康第一！



編集委員 宮地・宗石・有瀬・山本・近森・水田・横山でした。